

「京劇西遊記 2015 二人孫悟空真贋争」解説メモ  
日経アカデミア特別講座 6月20日(土) 池袋・東京芸術劇場にて  
講師 加藤徹 <http://www.geocities.jp/cato1963/>

ver.20150618

★京劇の「実家」、湖北省★

【京劇 きょうげき Jing-ju】 中国の古典劇の一種。「けいげき」とも読む。清代に北京で発達した（京は北京の意）。湖北で発生し安徽で栄えた二黄腔を乾隆55（1790）年に高朗亭が北京に持込み、これが陝西に発生した西皮腔と合体して皮黄腔と呼ばれた。



(ブリタニカ国際大百科事典 <https://kotobank.jp/word/京劇> 2015-6-13 閲覧)

★日本経済新聞 <湖北省京劇院「二人悟空真贋争」息もつかせぬニセ者との武芸対決>★

2015/6/17 6:00 <http://www.nikkei.com/article/DGXMZO88074710V10C15A600000/>

(引用開始) 「西遊記」は明時代に成立したといわれる伝奇小説で、京劇でもいろいろな場面を劇化している。福建省京劇団が1981年に「真仮美猴王」を制作し、今回の「二人悟空真贋争」は、これを基に原作小説をもう一度丹念に読み込んで、新たに再構成したものだ。事実上の新作である。構成・演出は程和平。中国有数の孫悟空役者としても有名な程は舞台でも本物の悟空役で出演する。(引用終了)

★「西遊記」略年表★

中国「四大小説名著」=『三国演義』『西遊記』『水滸伝』『紅樓夢』  
最後の『紅樓夢』以外の三作は、世代累積型集団創作である。

629年、玄奘三蔵(602-664)が唐から出発。インドで経典を研究。

645年、玄奘が唐に帰国。

646年、玄奘はインドへの旅行で得た見聞を『大唐西域記』に書く。

玄奘の没後から「唐三蔵西天取経伝説」の形成が始まる。

12世紀～13世紀、南宋の時代に『大唐三蔵取経詩話』が成立。

16世紀、明の時代に長編小説『西遊記』が成立。作者は不明(呉承恩という説も)。

18世紀、江戸時代の日本で翻訳書『通俗西遊記』の刊行が開始。

★「西遊記」の構造★

→現代日本の娯楽作品の趣向やアイデアにも多大の影響。

ゲーム感覚

個性豊かなキャラクターが、共通の目的を目指すRPG(役割演技ゲーム)型の物語。

「九九八十一難」をクリアすれば、キャラクターは仏になれる。

魔法の技、道具、アイテムなど、ルールが決まっている。

キャラクター 「知情意」と「雅俗」

(知) 孫悟空：初期は「トリックスター、本音キャラ」

弟子になったあとは「正統派ヒーロー、建前キャラ」

(情) 猪八戒：コミックリリーフ、本音キャラ。昔は黒豚、今は白豚。

(意) 沙悟浄：ムードメーカー

三蔵法師(中国では「唐僧」)：建前キャラ

にせ孫悟空(六耳彌猴)：悪役の本音キャラ

釈迦如来：機械仕掛けの神(デウス・エクス・マキナ)

世界観

東天は道教(玉帝)、西天は仏教(お釈迦様)。

海底には竜宮城、地底には冥府。

実力伯仲の「本物 vs 偽物」対決。 → 現代日本のヒーローものへの影響  
古典小説『西遊記』第五十七回「真行者落伽山訴苦、仮猴王水簾洞騰文」

#### ★京劇の約束事★

役者は、打楽器のリズムや音楽にあわせて演技する。

三蔵法師が手に白い棒状のムチを持つと「白い馬に乗っている」という意味。

黄色は王様(孫悟空)や皇帝(玉帝)、偉い人(三蔵法師)。金色は神仏(釈迦如来)。

情景は、役者のセリフや歌で描写する。

登場人物は原則として必ず「かぶりもの」をつける。

役者のメイクは、没個性的な「俊扮」と、個性的な「くまどり」の二種。

#### ★京劇は人生の学校★

六耳彌猴「どうしてあいつだけが良い目を」というジェラシー。

孫悟空「頑張ってるにわかってもらえない」という無念。

三蔵法師「私はこの目を見たから」と簡単に騙される。

ドラマの最後の、釈迦如来の言葉

「害人之心終害己、自招其禍爾命難存」

他人を傷つける悪い心は、けっきょく自分をも傷つける

自業自得でおまえは命を失うだろう

#### ★京劇の舞台を見る楽しみ★

CGもワイヤーも使わずに、役者だけでこんなに演技できる。

キャラとキャストの「重ねの色目」。

自分の目は実は最高のカメラである。

芝居とは、舞台と客席が一体となって作る空気である。

劇場で見ると、思い出になる。

祖父母、父母、子ども、孫……世代を超えて楽しめる。

以上



(程和平先生と)